


# 連携だより

令和5年 12月号

令和5年12月1日発行

独立行政法人 国立病院機構   
呉医療センター・中国がんセンター  
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1  
TEL 0823-22-3816  
FAX 0823-32-3070

URL <https://kure.hosp.go.jp>

理念

思いやりのあるやさしい誠実な医療を提供します

12月の花 スイセン



## 今月号のトピックス

- 手術用ロボット ダヴィンチXi 副院長 繁田 正信 …… 1
- 特別講演 広島大学大学院 医系科学研究科  
脳神経外科教授 堀江 信貴 …… 2
- 定期講演 呉医療センター漢方診療科  
広島国際大学薬学部生薬漢方診療学教授 中島 正光 …… 3
- 診療科紹介 眼科科長 望月 司 …… 4
- 新任医師紹介 …… 6
- T C S A勉強会 地域医療連携室 副看護師長 片山 千雪 …… 6
- チームアプローチの紹介 ソーシャルワーカー 菰口 陽明 …… 7

## 手術用ロボット ダヴィンチXiを導入しました



呉医療センター・  
中国がんセンター  
副院長・泌尿器科科長  
繁田 正信

呉医療センター・中国がんセンターに多くの患者さんをご紹介頂いている医療機関の皆様、大変お待たせ致しました。本年11月3日、当院に手術用ロボットダヴィンチXiが搬入されました。現在、各外科系の医師や手術部のスタッフと共に実地見学やシミュレーション等、様々な準備を行い、12月から本格的に始動致します。ダヴィンチXiは2012年に前立腺癌に対し保険適応が認められ、その後、腎癌、膀胱癌と言った泌尿器科領域のみならず、大腸癌、胃癌、膵臓癌、肺癌、子宮体癌など、多くの外科領域で保険適応となりました。近年、新たに導入された手術用ロボットも現段階ではダヴィンチXiを含めて4社ありますが、当院は世界で最も多くの優れた実績を持つダヴィンチXiを選択致しました。呉医療圏では初の導入となります。今後は今まで以上に呉市民の健康のために精進したいと思っておりますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。



手術用ロボット ダヴィンチXi



副院長 繁田正信

副院長 繁田正信 シミュレーション中



打ち合わせ中



泌尿器科 古谷知己

泌尿器科 上田直樹

副院長 繁田正信

## 11月1日 地域医療研修センター 特別講演会を開催いたしました



広島大学大学院  
医系科学研究科  
脳神経外科教授  
日本脳卒中協会  
広島県支部長  
堀江 信貴先生

「専門外でも知っておきたい脳卒中診療の進歩と広島県の未来」と題しまして 広島大学大学院 医系科学研究科脳神経外科教授 日本脳卒中協会広島県支部長 堀江信貴先生にご講演いただきました (以下抄録より)

厚生労働省の発表によると、死因別死亡総数のうち脳血管疾患が占める割合はいまだに高く、大半は脳梗塞が原因とされている。また脳梗塞に一度罹患すると後遺症によるハンディキャップをおった生活を強いられ、高齢者介護、医療財政問題の最大の要因と成っている。近年、本邦における脳卒中に対する法整備や脳血管内手術、薬剤の進歩により脳梗塞における転帰改善が得られている。

本講演では、近年の脳卒中診療におけるエビデンスを中心に概説し、広島県における脳卒中診療、地域連携の取り組みについて私見を踏まえて紹介する。



(左から) 脳神経外科 高野元気 脳神経外科医長 伊藤陽子 院長 下瀬省二  
 広島大学大学院 医系科学研究科 脳神経外科教授 堀江信貴先生  
 統括診療部長 大庭信二 初期研修医 山田紗弥花  
 脳神経外科 山本悠介 中央診断センター部長 磯部尚幸



広島大学大学院  
 医系科学研究科  
 脳神経外科 教授  
 堀江信貴先生



座長 統括診療部長  
 大庭信二



中央診断センター部長  
 磯部尚幸



脳神経外科  
 高野元気



会場風景

## 10月24日 定期講演会を開催いたしました



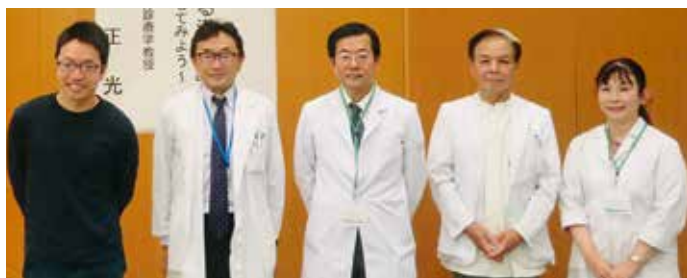
呉医療センター  
 漢方診療科

広島国際大学薬学部  
 生薬漢方診療学教授  
 東亜医学協会理事長  
 中島 正光先生

「目からウロコ、ベテラン臨床医にも聞いてもらいたい診療に使える漢方～病態を考えて漢方薬の薬能で治療してみよう～」と題しまして  
 呉医療センター漢方診療科 広島国際大学薬学部 生薬漢方診療学教授  
 東亜医学協会理事長 中島正光先生に分かりやすくご講演いただきました。  
 呉医療センター漢方診療科でともに診療いただいている津田産婦人科クリ  
 ニック 光野彩子先生、八幡診療所所長 橋本直樹先生にも講演会終了後、  
 個別相談にご対応いただきました。  
 また、漢方、女性疾患に関する冊子も多数ご持参いただき、受講者に持ち帰  
 られるようご配慮いただきました。  
 (以下抄録より)

漢方非専門医・医療者向けの研修会です。漢方治療をもっと簡単に理解して学  
 んでみたい、有効な漢方薬で治療したいと思われる先生向けに我々が経験した  
 ケースなどをお見せしながら、解りやすい漢方治療の仕方をご伝授できればと思  
 います。

漢方薬は一般に複数の生薬から構成され、西洋医学には無い薬能を持つことから、西洋薬では治療できな  
 い病態を治すことができます。そして、西洋薬に併用して治療の有効性を上げることも可能です。日常診療  
 に直ぐに漢方を使うよう工夫してご提示したいと思います。



(左から) 八幡診療所所長 橋本直樹先生 院長 下瀬省二  
 呉医療センター漢方診療科 広島国際大学薬学部  
 生薬漢方診療学教授 東亜医学協会理事長 中島正光先生  
 地域医療連携部長 河野博孝  
 津田産婦人科クリニック 光野彩子先生



座長 地域医療連携部長  
 河野博孝



呉医療センター漢方診療科  
 広島国際大学薬学部  
 生薬漢方診療学教授  
 東亜医学協会理事長  
 中島正光先生



外科医長 鈴木崇久



薬剤部長 藤田秀樹



大字根内科呼吸器科  
クリニック院長  
大字根晃雅先生



会場風景



個別相談（光野彩子先生・橋本直樹先生）



個別相談（中島正光先生）

## 診療科紹介



眼科科長  
望月 司

### 眼科紹介

スタッフ

望月 司・水野 優

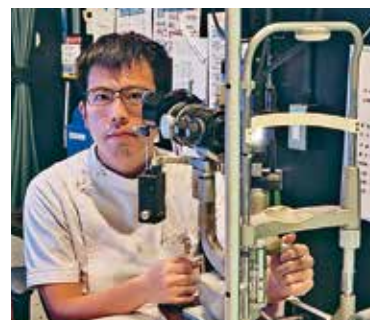
平素よりご高配を賜りありがとうございます。

当院の眼科医師は常勤・非常勤合わせて2名が所属しています。2名とも、日本眼科学会認定の眼科専門医の資格を取得しております。診療内容は網膜・緑内障・白内障・角膜・ぶどう膜炎・眼形成・神経眼科・小児眼科と多岐にわたります。

総合病院の利点を活かして入院加療が必要な患者さんや、CT検査・MRI検査など画像診断が必要な患者さんにも積極的に対応しています。



眼科外来のスタッフ



診察中の望月 司

## 当科の特色

### 白内障

当科では良好な術後成績を得るために、手術を安全に遂行することを心がけておりますが、術前の準備も念入りに行っております。術前に閉塞隅角が疑われる患者さんを除いて散瞳検査を行い、白内障の状態をカルテに記載します。ライフスタイルを踏まえてふさわしい眼内レンズを決めていきます。どのような見え方がその人にとって望ましいか、そのために屈折値をどうすべきか、患者さんと念入りに相談して種類と度数を決めます。

ほとんどの症例で、小切開での超音波乳化吸引術を行っています。また、当科では眼内圧の変動が少なく前房の安定性が改善し、効率的な核処理ができるため、より低侵襲の手術を可能となったアルコン社製のコンステレーション®を導入しています。

### 網膜硝子体疾患

当院では、様々な網膜硝子体疾患の診断・治療に対応できる診療体制を整えています。

網膜静脈閉塞症や加齢黄斑変性症や糖尿病性黄斑浮腫などの薬剤治療が必要な患者さんについては、蛍光眼底造影検査を行いつつ治療に当たります。抗VEGF薬治療については最新の薬剤を含めて一通り取り揃えております。網膜裂孔や糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症に対してはレーザー治療で悪化を予防していきます。

### 緑内障

視神経の形状観察やOCTを駆使して初期診断を行います。その後、前房隅角の状態を観察した上で、病型診断を行います。多くの開放隅角型の緑内障治療における第一選択は、点眼治療とされています。近年、点眼は新規成分の薬剤や新規の配合剤が開発されてきていますが最新の薬剤を含めて採用するようにアップデートを欠かさずに行っております。ハンフリー自動視野計、ゴールドマン視野計を用い、病期や進行度の正確な評価を行います。点眼を含めた内科的治療で病状のコントロールが難しい場合には、病態に即した外科治療を行っています。

### ぶどう膜炎

前部、中間部、後部に分けて炎症の性状と分布を評価します。どのようなタイプのぶどう膜炎か、問診、経過、臨床所見から診断を進めます。原因検索と治療を同時に進めつつ診療にあたります。サルコイドーシスやベーチェット病など全身疾患を伴うブドウ膜炎についても総合病院の利点を活かして他科と連携しつつ診療にあたるのが可能です。一般的な検査では診断が難しく、眼内液を詳しく調べる特殊検査が必要な場合や、免疫抑制剤や抗体療法など、より専門的な治療が必要な場合は、ぶどう膜炎を専門的に診療している広島大学病院と連携し、診療を行っております。

### 角膜

角膜感染症に対しては分布様式から原因菌を推定し、培養採取後に薬剤治療を行っています。感染対策室が整備されており、培養検査が自院で施行できるところが総合病院の利点であると思います。角膜トポグラフィを備えており、角膜不正乱視による視力障害の診断が可能です。翼状片などの小手術も行っております。

### 眼形成

涙嚢炎や涙腺炎などの疾患に薬剤治療を行っています。腱膜性眼瞼下垂や眼瞼内反など手術加療が必要な疾患は形成外科と連携して診療にあたります。眼窩底骨折についても耳鼻科や形成外科と連携して手術加療が可能です。

### 神経眼科

原因不明の視力障害の精査や視神経炎に対する精査加療や外傷性視神経症の精査加療を行っております。総合病院の利点を活かして、CTやMRIなど各種画像検査が必要な疾患も診療可能です。鼻性視神経症など他科との連携が必要な疾患も対応しております。

## 小児眼科

小児検診で指摘された、弱視を引き起こしうる屈折異常や斜視を中心に診療を行っております。調節麻痺薬を用いた眼鏡作成やアイパッチなどの装具を用いて患者さんの視機能の発育を促します。小児の視機能の評価については成人と比べて検査に時間がかかることが多いため、多くの小児については成人とは別枠で予約時間を調整し、時間を十分に掛けて診療を行っております。斜視手術や睫毛内反症手術については当院では行っていないため必要なタイミングで他医療機関への紹介を行っております。

### 新任医師紹介

産婦人科

北村 美緒



専門 産婦人科

資格等

趣味 読書

ご挨拶

まだまだ未熟者ですが精一杯頑張ります。  
どうぞよろしくお願いいたします。

## TCSA勉強会を聴講して

地域医療連携室 副看護師長 片山 千雪

10月16日（月）TCSA勉強会を聴講しました。

薬剤部 野村朋未先生より「静脈栄養について」と題されてご講演いただきました。

末梢静脈（PPN）と中心静脈栄養（TPN）の適応やメリット・デメリットなどを、多職種にわかりやすく教えていただきました。特に中心静脈栄養管理を導入期・維持期・離脱期に分類した、具体的な注意点や合併症などの観察項目は、看護の実践の場ですぐに活用できるもので、大変良い学びとなりました。



薬剤師 野村朋未



（左から）栄養士 国正昇馬 主任栄養士 保手濱由基 薬剤師 伊勢田諭  
栄養管理室長 兼任美 薬剤師 野村朋未 副院長 繁田正信



会場風景

## 救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで**電話でご連絡**いただきますようお願い申し上げます。

平日 昼間 8：30～17：15 ☎0823-22-3111  
土・日および夜間 17：15～8：30 ☎0823-23-1020

## チームアプローチの紹介

### 自殺再企図防止への多職種連携による実践

ソーシャルワーカー 菰口 陽明

自殺企図患者は、その後の自殺の危険性が高いため、救急治療、急性期治療、そして地域ケアを通して、再度の自殺企図を防ぎ、社会復帰に結びつけていくことが求められています。多くの方は精神的な問題を抱えており、身体的治療に加えて、再発の予防を含めた心理社会的支援を実施する必要があります。当院では自殺企図患者に対して、身体・精神的な治療が併行して行われています。なお、呉市では国の施策である自殺対策基本法に基づき市町村自殺対策基本計画として「みんなでいのち支える呉プラン（呉市自殺対策計画）」が策定されており、自殺再企図防止支援を充実させていくことは地域福祉の貢献にも繋がるものと考えております。

そこで当院では昨年度より一般社団法人日本自殺予防学会が主催する「自殺再企図防止のための救急患者精神科継続支援研修会」へ精神科医師、精神科病棟看護師、ソーシャルワーカー等が積極的に参加しています。対象患者の今後の地域生活をふまえ、自殺未遂者の危険因子や防御因子を把握し、危険因子を減らし、防御因子を高められるよう、多職種連携によるアセスメントや心理教育を強化しています。防御因子には良好な家族・対人関係や充実した生活、経済的安定等がありますが、とりわけ関係機関の皆様の御支援が極めて重要と日々感じています。今後とも微力ながら地域住民の心身の支えとなるよう、多職種連携による実践を模索していきたいと考えています。



### 認知症ケアチームの活動紹介

ソーシャルワーカー 増本 篤志・菰口 陽明

認知症ケアチームは認知症による行動・心理症状や意思疎通の困難さが見られ、身体疾患の治療への影響が見込まれる患者さんに対し、多職種が対応することで、認知症の悪化を予防し、身体疾患の治療を円滑に受けられることを主目的として活動しています。チームのメンバーは、精神科医師、精神看護専門看護師、薬剤師、臨床心理士、栄養士、ソーシャルワーカーといった複数の職種から構成され、担当医・病棟看護師と共に、認知症患者さんの入院による混乱を予防・緩和するための支援を行っています。

高齢の患者さんにとって入院環境はそれまでの生活との乖離が大きく、様々な場面で不安に陥りやすいといえます。また、認知症ケアは今までの社会生活に戻ろうとする患者さん個々の退院支援との関連も密接であると考えています。そのため地域の関係機関の皆様から頂いている入院前の生活に関する情報は、その不安を和らげるためにも大変貴重なものとなっています。認知症を抱える患者さんが少しでも安心して地域生活へ戻られるよう、引き続き円滑な連携を宜しく願います。



#### 主な活動

##### ◆チームラウンド

週2回の対象患者のカンファレンスと各病棟の巡回により、病棟スタッフと患者さんの状態に合わせた環境整備やコミュニケーションなどの介入方法を検討しています。

##### ◆認知症に関する研修会の開催

認知症ケアやせん妄に関する研修会を多職種で企画、実施しています。

# 12月の時間外 研修会／勉強会



[連絡先]

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 管理課 庶務係（教育企画部）

広島県呉市青山町3番1号/TEL:0823-22-3111/ホムメヂ : <https://kure.hosp.go.jp>



研修会名	日 時			場 所	講 師 ※敬称略	担当部署	院外参加	対象職種
消化器合同オープンカンファレンス 肝・胆・膵及び上部下部消化管を対象疾患とし、 画像診断から手術・病理診断まで担当各科で検討	12月6日	(水)	18:00～	11F 大会議室	呉医療センター 消化器内科 外科 放射線診断科 病理診断科	消化器外科	○	全職種
RCTオープンセミナー 「呼吸の観察とは」 ～挿管前から呼吸器装着中、 抜管後まで継続した診かた～	12月8日	(金)	18:00～19:00	地域研修センター 1・2	呉医療センター 救急科 診療看護師 竹田 明希子	呼吸ケアチーム	院内向け	全職種
コメディカルのお薬勉強会 「慢性便秘症と治療薬について」	12月11日	(月)	18:00～19:00	11F 大会議室	呉医療センター 薬剤師 佐藤 康一 石丸 萌芽	薬剤部	院内向け	看護師 助産師 コメディカル
第7回 TCSA勉強会 「クリニカルパスのアウトカム評価について」 「クリニカルパス運営への薬剤師の関わり」 「クリニカルパス運営への栄養士の関わり」 「骨粗鬆症について～FLSの取り組み～」	12月18日	(月)	18:00～19:00	地域研修センター 1・2	呉医療センター 看護師長 西田 香奈恵 薬剤師 安部 裕美 管理栄養士 朝見 亜美 整形外科医師 岡田 芳樹	栄養管理室	○	全職種



自己研鑽で専門性を高めましょう!!

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1 **地域医療連携室**  
**独立行政法人 国立病院機構** 河野 博孝 西岡 巧  
**呉医療センター・中国がんセンター** 竹中 恵子 折本 陽一  
 片山 千雪  
 TEL: (0823) 22-3816